

2026年度 当初予算

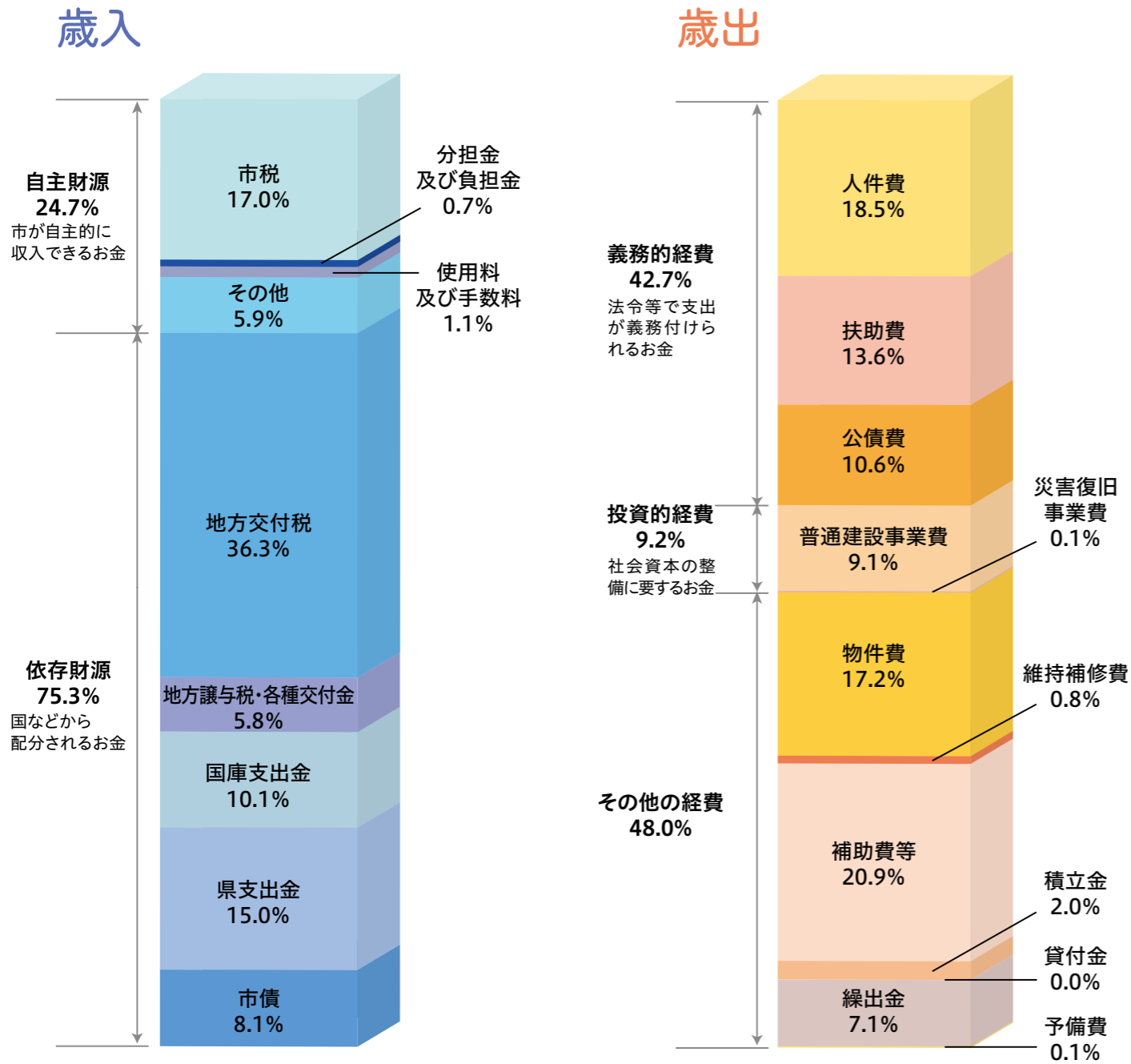


詳細は
市ホームページで
公開しています。

>> 安心して暮らし続けられる地域づくりと、次世代への投資を両立するための予算です。
限られた財源を有効に活用しながら、この予算を基にさまざまな施策を展開していきます。

一般会計予算 総額 221億6,100万円

予算規模は前年度比12.5%増となりました。主な要因は、認定こども園の整備や強い農業づくり事業、人件費・物件費の増加などです。



※構成比は単純比較のため、合計が100%とならない場合があります。

☎ 財政課 財政係 ☎ お太助フォン 42-5623

今月の

市長コラム

未来を描き、実行する一年に

こんにちは。市長の藤本悦志です。
新年度がスタートし、本市にとって新たな一步を踏み出す季節を迎えました。
このたび、第3次となる「安芸高田市総合計画」を策定しました。この計画は、市の最上位計画として今後20年間の行政運営の指針となるものです。基本理念には「百万一心、未来へつなぐ安芸高田市」を掲げています。市民の皆さまをはじめ、市に関わる多様な人々と共に世代を超えて受け継がれてきた安芸高田市らしさを大切にしながら、次の世代へつないでいくことをまちづくりの基本的な考え方としています。
計画の策定に当たっては、審議会での議論や市民の皆さまとの対話を重ね、地域の課題や多様なご意見を丁寧に反映してきました。また、より実効

性の高い計画とするため、具体的な施策を示す基本計画の期間を従来の5年間から4年間へ見直し、その時々々の課題や市政の方向性を的確に反映できる仕組みとしています。
計画では、3つの将来像のもと、「市民と共に歩むまちづくり」をはじめとする5つの政策の柱に基づき、各分野で施策を着実に推進していきます。
2026年度当初予算は、この総合計画に基づく施策を具体的に推進していくための予算として編成しました。計画は、策定することが目的ではありません。実行し、成果を生み、未来を形づくることにこそ意味があります。20年後においても、このまちで挑戦できる環境を守り、選ばれるまちであり続けるため、市民の皆さまと共に取り組みを進めてまいります。

子どもが主役!

未来をつくる 学びのチカラ



市内の小中学校で行われている“学び”を紹介します



マットやローテーブルでくつろげる図書室に。図書委員が映画上映の企画も行います。
校内のいたるところに飾られているPOP。

本に囲まれた環境で育む、考える力と表現力

本の魅力は、ページをめくるたびに、新しい世界や生き方に出会えること。思考力と表現力を磨いてほしいという思いから、甲田小では読書活動に力を入れています。取り組みの柱は、すぐそばに本がある環境づくり。本のPOPを作って掲示したり、6年生が1年生に読み聞かせをしたりと、本に親しむ機会を広げています。昨年は、子ども司書と図書委員が中心となって図書室をリニューアル。先生は介入せず、児童だけで備品を選び、発注まで行いました。さらに、甲田文化センターミュージアムに児童自らが「本の紹介をしたい」と交渉したことも。先生も驚く行動でしたが、実現し、夏休みに本とPOPを展示しました。読書をきっかけに、主体性の育ちが少しずつ形になっています。



靴を脱いでくつろげる図書室を目指しました。読みたい本に出会える場所になればうれしいです。
子ども司書 大谷 和禾さん(6年)



小説が好きです。POP作りは、続きが読みたくなるようなコメントや色使いを意識しました。
子ども司書 島田 香帆さん(6年)



春から図書委員長になります。イベントなどを考えて、たくさんの人が来てくれる図書室にしたいです。
図書委員長 奥 実海さん(5年)

※学年は3月時点

☎ 学校教育課 ☎ お太助フォン 42-5628